

2018年1月期6月度 月次業績動向(2017年5月21日～2017年6月20日)
会社名 ピープル株式会社

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 小暮雅子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

科目	《月次の対比》			《期初からの累積の対比》			《過去12ヶ月の対比》		
	2017年1月期 6月度	2018年1月期 6月度	前年 同月比	16/1/21～ 16/6/20	17/1/21～ 17/6/20	前年 同期間比	15/6/21～ 16/6/20	16/6/21～ 17/6/20	前年 同期間比
売上高	351,517	270,972	77.1%	1,896,696	1,656,776	87.4%	5,045,865	4,482,657	88.8%
営業利益	1,976	13,918	704.4%	202,616	179,694	88.7%	640,513	510,367	79.7%
経常利益	1,929	15,021	778.7%	199,221	179,411	90.1%	633,126	524,680	82.9%
税引前利益	1,913	15,021	785.2%	199,205	179,705	90.2%	633,496	513,186	81.0%
流動資産	1,977,898	1,995,313	100.9%						
固定資産	253,665	253,618	100.0%						
流動負債	295,186	339,403	115.0%						
固定負債	50,000	-	N/A						
純資産	1,886,377	1,909,528	101.2%						
総資産	2,231,563	2,248,931	100.8%						

**【2018年1月期 第2四半期
(2017/1/21～2017/7/20)業績予想】**

(2017年6月1日発表)

- ・売上高: 20億39百万円(前年同期間比8.1%減)
- ・営業利益: 1億70百万円(" 24.4%減)
- ・経常利益: 1億59百万円(" 23.6%減)
- ・四半期純利益: 1億 9百万円(" 20.8%減)

商品別売上高

商品カテゴリ一名	2017年1月期 6月度	2018年1月期 6月度	当月 構成比	16/1/21～ 16/6/20	17/1/21～ 17/6/20	当期間 構成比	15/6/21～ 16/6/20	16/6/21～ 17/6/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	94,578	78,165	28.9%	456,061	488,148	29.5%	1,442,482	1,452,376	32.4%
女兒玩具	52,744	38,529	14.2%	290,406	242,222	14.6%	1,001,721	824,421	18.4%
遊具・乗り物	27,536	28,307	10.5%	402,283	213,037	12.9%	907,324	617,615	13.8%
海外販売、その他	176,659	125,972	46.4%	747,946	713,369	43.1%	1,694,338	1,588,245	35.4%
合計	351,517	270,972	100.0%	1,896,696	1,656,776	100.0%	5,045,865	4,482,657	100.0%

6月度新発売商品

商品カテゴリ一名	商品名	標準小売価格(税別)
女兒玩具	「おけしょうしてあげるね ぼぼちゃん(ロングヘアお風呂タイプ)」	¥3,980
遊具・乗り物	「Peopleじてんしゃ 12インチ(フロストホワイト)」(カラーチェンジ)	オープン価格
	「Peopleじてんしゃ 14インチ(ピュアローズ)」(カラーチェンジ)	オープン価格

当6月度では、海外販売で船積み調整月となり、国内販売では玩具部門が前年を下回った事で、売上高は2億71百万円、前年同月対比22.9%減となりました。

玩具部門では前年同月に多数の新製品発売が集中し出荷されていた為、当月とのギャップが大きく影響している他、端境期に当たる6月では玩具市場全般に厳しく、定番品の補充注文も縮小気味となっています。当6月の新製品では、「お化粧してあげるね！ぼぼちゃん」(税別3,980円)を女兒玩具カテゴリで発売しています。メイクアップ遊びのお人形は新しくはありませんが、近年では本来の対象年齢以前に買われる傾向があり、購入後に上手に遊べないこともあることから、当社は3歳児の遊び勝手を工夫し、この頃から芽生えるかわいらしいメイクアップの真似っこ欲求を満たす愛情のおけいこ人形ぼぼちゃんを新しく訴求しています。

尚、当月では売上高が前年同月対比で縮小の一方で、営業利益が著しく増大しているのは、前年に発売品集中に伴う販促費増があったのに対して当年は標準化している事、や当期の原価率が前年より改善されている事が要因です。